

山崎長郎●

私は、かなり以前より本書の原文を読んでいた。その時、世界には私の知らない素晴らしい補綴家が存在しているものと深い感銘を受けていた。このたび本書の書評を依頼された時、まさに喜んで快諾させていただいたのは、この様な伏線があったからであり、縁は本当に不思議なものである。

さて、本書は原書から厳選された五つの章より構成され、とりわけ必要であろう審美治療の基本事項及び臨床事項が分かりやすく整然と網羅されている。

まず、Chapter1は審美補綴の基本診査事項及び基準から、我々は十分な予備知識を確認する事ができる。この章は本当に分かりやすく、必要不可欠な診査項目を簡略に述べられている。特筆すべきは、非常に多くの天然歯を集めて形態を呈示している事である。

次にChapter2の色調と光では、我々歯科医も知っておかなければならない色調と光の臨床的解明とシェードテイクの詳細である。とくに本章は歯科技工士の方に必見であろう。

Chapter3は歯科用セラミックスの変遷と現在の接着性セラミックスの臨床応用について述べられており、特にエンプレスに焦点を当てている。

Chapter4は支台歯形成について解説されているが、各ステップの出来栄が素晴らしく、見ていてとても興味深い。

最後のChapter5では、ラミネートベニアについてまとめているが、各ステップの美しさと同時に順序立てられた臨床例が見事である。

読後、最も感じる事は、詳細なステップがこれでもかと写真により呈示され、それだけで十分な治療の理解が得られるようになってきていることである。また、これらのステップは歯科医師のみならず、歯科技工士にも参考になるものであり、現在のブラジルを代表する卓越した技工士とのコラボレーションは見事と言うほかはない。過去から現在に至り様々な審美関連の書籍は出版されてきたが、本書ほど今まであまり取り上げられていなかった詳細なテクニッ



月刊「歯科技工」別冊  
invisible 先端審美補綴フォトガイド  
天然歯と調和するセラミックス補綴の臨床と技工  
Sidney Kina・August Bruguera 著 /  
新谷明一 訳編  
A4判 176頁 定価 5,670円（本体 5,400円＋税 5%）  
医歯薬出版株式会社刊

目次

序
訳者序
推薦文
Chapter1 審美補綴の基本事項と診査基準
appendix ; Dental morphology——天然歯 100例
Chapter2 光と色
Chapter3 歯科用セラミックス
1. 黎明期から強化型セラミックスまで
2. 接着性セラミックスの臨床応用
3. IPS Empress II から IPS e. max Press へ
Chapter4 審美補綴における支台歯形成
Chapter5 ラミネートベニア
参考文献

クをカバーした書はないだろう。そういった意味でも、本書は日本の審美治療を志す歯科医師・歯科技工士に大いなる反響をもたらすに違いない。是非一読され、新たな審美の扉を開いてもらいたい。

(やまざきまさお 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷  
2-1-12 パシフィックスクエア 4階 原宿デンタル  
オフィス Tel: 03-3400-9405)